

「人吉・球磨支部会報告」

熊本県立南稜高等学校
校長 石田 智雄

1 令和6年度(2024年度)熊本県産業教育振興会における企業・高校人吉球磨支部 意見交換会

(1) 日時 令和6年(2024年)8月20日(火) 12時30分～13時40分

(2) 場所 人吉カルチャーパレス

(3) 参加者

支部長 宮本電機株式会社代表取締役会長 宮本厚 様

県理事長(代理) 熊本農業高校副校長 水村健一郎

支部事務局長 南稜高校校長 石田智雄

学校会員 南稜高校：宮下農場長、中島進路指導主事、松本食品科学科主任

球磨工業高校：鶴田栄一校長、中嶋進路指導主事

球磨中央高校：赤嶺達雄校長、松田進路指導主事、木庭商業科主任

濱口情報処理科主任

法人会員 人吉電気工事株式会社 代表取締役 延岡研一 様 他3人

(4) 概要

ア 学校の現状と進路指導の取組等(各校説明)

①球磨工業高校 ②球磨中央高校 ③南稜高校

地元や県内就職者が増加傾向(製造業 \searrow 、サービス・事務系 \nearrow)、進学増加傾向

イ 意見交換

- ・中途採用も行っている。Uターン者の把握状況を伺いたい。
- ・地元就職者も各校増加傾向であるが、分母が増えなければ地域を維持できない。管外への中学生流出対策でも法人会等の企業ネットワークを活用して欲しい。
- ・高校生の平日・週末のアルバイトを許可してほしい。アルバイトを通じて職業観・勤労観を育成する。地域は働き手不足の状況であり高校生が頼り。

2 人吉・球磨地区県立学校実践発表会(人吉球磨地区県立学校校長会との共催)

(1) 目的 県立学校における教育活動への理解を促す。関係機関との連携強化につなげる。地域に開かれた県立学校づくりを推進する。

(2) 日時 令和6年(2024年)8月20日(火) 13時50分～16時55分

(3) 会場 人吉カルチャーパレス

(4) 参加者 高校教育課、熊本県産業教育振興会、球磨地域振興局、球磨教育事務所、管内市町村教育長、人吉商工会議所、人吉球磨地域産業振興協議会、球磨地域農業協同組合、球磨郡PTA連絡協議会、産業教育振興会人吉球磨支部、管内中学校(進路担当・生徒・保護者)、管内県立学校(運営協議会委員、PTA役員等)など約150人

(5) 概要

ア オープニングセレモニー（人吉高校 YouTube「ぎゃんどこ人吉 ch」紹介）

イ 開会行事（進行 南稜高校生徒）

（ア）主催者あいさつ

熊本県産業教育振興会人吉・球磨支部長 宮本厚 様

人吉・球磨地区県立学校長会長 人吉高校 校長 高田拓

（イ）来賓あいさつ 高校教育課 審議員・課長補佐 太田浩樹 様

ウ 実践発表

（ア）球磨中央高等学校

地元とともに開発した商品の継続的な販売・販路拡大に向けて

～飲食業界が導く全ての人々の『幸せ』～

（イ）球磨工業高等学校

廃木材の利活用と木育による持続可能な社会を目指す取組み

（ウ）人吉高等学校（全日制・定時制・分校）

全日制：復興メソッド～高校生にできること～

五木分校：令和5年6年「五木分校プロジェクト」（総合的な探究の時間）

定時制：動画発表「UD観光マップ・コースの作成」

（エ）南稜高等学校

意見発表「故郷を守る利他の心」

プロジェクト発表

「故郷と共に！『令和2年7月豪雨』復興への歩み」

※ 球磨支援学校は作品展示による発表

エ 講評 球磨教育事務所 指導主事 溝口博史 様



3 人吉球磨地区に学ぶ高校生を対象とした企業説明会

(1) 目的 生徒の職業観・勤労観を育成し、自分らしい生き方を実現するための力を身につけさせる。地元企業の経営方針や企業理念等を学ぶことで、郷土理解や郷土愛を深め、郷土を担う人材を育成する。

(2) 対象生徒 各学校の2年生

(3) 開催校及び開催日

学校名	期 日	参 加 企 業
球磨中央高校	令和6年10月30日（水）	岩下兄弟株式会社、宮本電機株式会社
球磨工業高校	令和7年 2月21日（金）	（調整中）
南稜高校	令和7年 2月19日（水）	（調整中）

4 まとめ

企業会員と学校会員が連携し、地域振興と地域社会に貢献できる人材の育成に取り組んだ。いずれの取組も高評で大変有意義であった。今後も上述した取組を改善を図りながら継続し、本会と人吉球磨地域の活性化につなげたい。